

## 道徳指導展開案（略案）

室根村立折壁小学校 大 竹 博 行

- 1 日 時 平成15年 9月11日（火） 5校時
- 2 対 象 室根村立折壁小学校 第5学年 1学級（男11名 女10名 計21名）
- 3 主題名 感謝の心 「尊敬・感謝2－（5）」
- 4 資料名 おじいさんのあたたかな目（出典 みんなのどうとく5年 学研）
- 5 ねらい 日常生活の中でたくさんの人にお世話になっていることに感謝し、それに応えようとする気持ちを育てる。
- 6 展開案

段階	学習活動と主な発問	予想される児童の反応	指導上の留意点
導 入	<p>1. 本時の学習に興味・関心をもつ。</p> <p>○ 日頃お世話になっている人たちはどのような人がいますか。</p> <p>○ 「ありがとう」って言えますか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・両親、祖父母、兄弟</li> <li>・友達、学校の仲間</li> <li>・学校の先生方、塾の先生方</li> <li>・スポ少の指導者、地域の方々</li> <li>・幼い頃にお世話になった方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの方々にお世話になっていることを感じ取らせる。</li> <li>・心のノート p. 52~53を活用して、課題を心にかける。</li> </ul>
展 開	<p>2. 資料「おじいさんのあたたかな目」を読んで、ぼくがどんなことを考えたか話し合う。</p> <p>○ 「小さな親切、大きなお世話だ」と心の中でつぶやき、無視してしまったぼくは、どんなことを考えたでしょう。</p> <p>○ はっとしたとき、ぼくはどんなことに気がついたでしょう。</p> <p>○ おじいさんに家まで連れて帰ってもらったことを思い出したとき、どんな気持ちになったでしょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どこに行こうと関係ないじゃない。</li> <li>・うるさいなあ。わかってるよ。</li> <li>・いつもいつも同じことばかり言って、聞き飽きたよ。</li> <li>・むしゃくしゃしてるから、返事もしたくない。</li> <li>・無視して悪かったなあ。</li> <li>・どうして無視してしまったのかな。</li> <li>・お父さんに教えてくれたんだ。</li> <li>・心配してくれていたんだ。</li> <li>・自分を情けなく思っている。</li> <li>・ありがたいと思っている。</li> <li>・人の思いを大切にしようと思っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いつもと違って、何となく取ったぼくの態度を共感させるとともに、自分の心の中にも同じような気持ちがあることに気付かせる。</li> <li>・父の言葉からおじいさんの思いに気付かなかったことを反省しているぼくの気持ちと、小さな親切に支えられて育ってきたことに気付いたことをつかませる。</li> <li>・おじいさんとのことを思い出し、支えられて大きくなってきたことを実感したことから、ぼくの心がうごき、心が晴れやかになっていることに気付かせる。</li> </ul>

展 開	心 に ひ び く	<p>3. 学んだ道徳的価値と自分の体験を重ね合わせて、今までの自分の生き方や考え方に気付く。</p> <p>○ いろいろな人に支えられてきたし、今も支えられている。お世話になっている人たちに今までの自分はどのように接してきたかを考えて、気付いたことを書きましょう。</p>	<p>・そのときの自分の感情によってとった態度を想起して、相手の思いを大切にしていなかったことに気付く。</p> <p>・恥ずかしくて素直に感謝の気持ちを表せないでいることに気付く。</p>	<p>・導入で想起したお世話になっている人たちの中から、考える観点として、対象とどのようにお世話になったのかをはっきりとさせる。</p>
		<p>4. 自分の考えと他の人の考えを比較し、お互いのよさや可能性に気付く。</p> <p>○ ペアで書いたものを発表しましょう。</p> <p>○ 次のような点に気を付けてくればながら聞きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・考えが似ているところ</li> <li>・考えが違っているところ</li> <li>・考えが違って共感するところ</li> </ul> <p>○ ペアの話し合いで気付いた考えのよさを発表し合いましょう。</p>	<p>・これまでの自分がとってきた態度を振り返りながら、同じようなことが他の人にもあることに気付く。</p> <p>・他の人の考えから、自分が気付かなかったことに気付く。</p> <p>・自分や他の人の考えのよさに気付く。</p>	<p>・お互いの考えを批判し合うのではなく、自分や他の人のよさを理解し合うことを目的とするため、聞く観点を示す。</p> <p>・個人の心にひびいたことを全体で共有する。</p>
	心 を み つ め る	<p>5. よりよい生き方を指すことについて、これからの自分の思いをまとめる。</p> <p>○ これからの自分は、どのように生きていきたいか、自分なりの考えを書きましょう。</p>	<p>・交流する活動で新たに感じたことや考えたことを基にして具体的な場面や行為、そのときの気持ちについて自分なりの考えをまとめる。</p>	<p>・よりよい生き方を指すことについて、自分の心をつめさせる。</p>
終 末		<p>6. 本時のまとめをする。</p> <p>○ もう一度心のノート p.52~53を開いて、自分の心をつめましょう。</p>		<p>・よりよい生き方を指そうとする思いを感じ取らせ、自分の心の中に「はい」にさわりうとしている自分がいることをみつめさせる。</p>